



2026年2月1日発行  
1952年5月13日発刊  
毎月1日(月刊定価1部60円)  
(購読料はYMCA会費に含まれています)  
公益財団法人名古屋YMCA  
〒464-0848  
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号  
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332  
●発行人 中村 隆  
●編集人 名古屋YMCA広報

# YMCA News

ピンクシャツデー  
2026年度テーマ

## あなたならどうする

ピンクシャツデー実行委員長 **鈴木 翔子**  
(リーダーOG)



今年のピンクシャツデーのテーマは「あなたならどうする」。

この問いかけは、誰かに正解を教えてもらうためのものではありません。目の前で起きている出来事に対して、自分自身はどう感じ、どう行動するのかを考えるための言葉です。

ピンクシャツデーは、ピンク色のものを身につけることで「いじめ反対」の意思表示を行う日です。その始まりは、カナダのとある学校で起きた出来事でした。ある日、ひとりの男の子がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、「ゲイだ」とからかわれ、いじめを受けました。その状況を見た二人の男子学生は、「みんなでピンク色のものを身につけて学校に行こう」と呼びかけます。その呼びかけに多くの生徒が賛同し、翌日、学校はピンク色に染まりました。そして、いじめは自然と止んだのです。

この出来事が教えてくれるのは、やってはいけないことを知っているだけでは、いじめはなくなるといけません。大切なのは、自分で考え、相手の立場を想像し、行動に移すことです。二人の男子学生は、言葉でも力でもなく、行動によって「それはおかしい」と示しました。

いじめは学校の中だけで起こる問題ではありません。職場や地域、インターネットの世界など、大人の社会にも身近に存在しています。見て見ぬふりをするこも、知らないふりをするこも、結果としていじめを続かせてしまうことがあります。だからこそ、子どもから大人まで、すべての世代がいじめと向き合い、「自分ならどうするか」を考える必要があります。

AIに聞けば、すぐに答えが返ってくる時代です。しかし、人の気持ちに寄り添い、正解のない問いに向き合うことは、誰かに任せることはできません。ピンクシャツデーの原点となった二人の学生のように、自ら考え、小さくても良い行動を選び取れる人でありたいと思います。

いじめを止める方法に、ひとつの正解はありません。しかし、傍観者でいないと決めること、自分ではない誰かのために行動することは、確実にポジティブな連鎖を生み出します。「あなたならどうする？」

その問いを胸に、まずはピンク色のものを身につけることから、いじめのない社会への一歩を踏み出していきましょう。

名古屋YMCAでは毎年、キッズプログラムに所属する子どもたちや、幼稚園・日本語学院に通う生徒、そしてスタッフが共に、いじめについて考え、思いを共有する場を設けています。今年は、いじめを受けている子どもがいたときに「自分ならどのように行動できるか」を考えるワークに取り組みます。相手の立場を想像し、自分と相手の両方を大切にすること、思いやりの心を育てていきます。ワークで使用する紙は各拠点で掲示する予定ですので、ぜひご覧いただき、「あなたならどうする」を考えてみてください。

また、ユースボランティアリーダーによる問いかけフリップの制作や、いじめ反対のメッセージをSNSで発信していきます。投稿へ「いいね」や「共有」をお願いします。みなさんもピンク色のものを身につけ、「#ピンクシャツデー」「#YMCAPINK」のハッシュタグとともに投稿してください。SNSを通して、いじめに反対する思いを広げていきましょう。



Instagram

ピンクシャツを着て  
投稿してね!  
#ピンクシャツデー #YMCAPINK



Facebook



Youtube

紙芝居  
配信中!

## アフタースクールFun! 卒業生インタビュー

名古屋YMCAが運営する学童保育「アフタースクールFun!」でも、卒業の季節が近づいてきました。今回は、田代小学校6年生の齋藤泰海(さいとう たいが)さんと、春岡小学校6年生の近藤芙実(こんどう ふみ)さんが、インタビューに答えてくれました。

### Q1 楽しかった遊びは？

たいが：女子チームと男子チームに分かれて戦いごっこをしたことです。自分たちでルールを考えながら、みんなで本気で勝負したのが楽しかったです。  
ふみ：ジョイントマットを使って家を作って遊んだことです。みんなで協力して工夫しながら作るのが楽しかったです。

### Q2 長期休みのプログラムの思い出

たいが：モリコロパークに行ったことと、リニア・鉄道館です。特にグリーン車で遊んだのが楽しくて、友だちとたくさん話したのが印象に残っています。  
ふみ：シアターでみんなと映画を観たことと、きもだめしです。部屋を暗くして、みんなで脅かし合っ  
て遊んだことが楽しい思い出です。



### Q3 中学生になって頑張りたいことは？

たいが：勉強です。小学校より難しくなると思うので、しっかりついていけるように頑張りたいです。  
ふみ：勉強と友だち作りです。新しい環境でも、自分らしく楽しみながら頑張りたいです。

### Q4 Fun! に来てよかったこと

たいが：他の学校の子と関わったことです。学校だけではできない交流ができて、友だちの輪が広がりました。  
ふみ：高学年の子や他の学校の子と仲良くなれたことです。いろいろな人と接することができて楽しかったです。

### Q5 Fun! のみんなに一言

二人：これからも、たくさん遊んで、たくさん思い出を作って、YMCAを思いきり楽しんでください！

たいがくん、ふみさん、卒業おめでとう！インターナショナル・チャリティーランに参加してくれたり、年下の子に優しく接してくれたり、二人は行動でFun!のみんなを引っばってくれる存在でした。残りの小学校生活も思いきり楽しんでください。中学校でのさらなる成長と活躍を心より応援しています。いつでもYMCAに遊びに来てくださいね。

(担当スタッフ 瀬川 景子)

## 新年度キッズプログラム募集

2026年度キッズプログラムの会員募集を開始しました！体操やサッカー、バスケットボール、イングリッシュ、学童保育、野外活動などなど・・・様々なクラスをご用意しております。子どもたち一人ひとりと向き合い、心身共に成長できるプログラムの運営を目指



していますので、多くの方にご参加いただければ幸いです。お知り合いにお子様の習い事をご検討中の方がみえましたら、ぜひご紹介ください。また、すべてのクラスで体験および見学が可能です。気になるクラスがございましたらお気軽にお問合せください。

**申込期間**：2月5日(木)10:00～23日(月)23:59

**申込方法**：右記QRコードより  
WEB申込

クラス詳細はHPをご確認ください♪



※途中入会・体験も可能です。上記期間外の申込は電話受付となります。


# クリスマス献金感謝

名古屋YMCAでは2025年12月1日～2026年1月31日にかけて、クリスマス献金を実施しました。この献金は毎年クリスマスの時期に行っており、「青少年基金：ユースボランティアリーダー育成や貧困児童対策学童キャンプ支援」「国際協力：留学生支援」「地域支援：クリスマスキャロル」といった活動支援金として大切に用いさせていただきます。今年も多くの方々からご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今後も活動を続けていくと共に、趣旨への理解・賛同が広がっていくよう努めていきます。

2025年度合計金額 **447,060円**



2025年度クリスマスキャロルの様子  
練習や当日の会場変更がありましたが、クリスマス献金のおかげで継続でき、素晴らしい地域交流の場となりました



## 名古屋YMCA クリスマス献金ご協力をお願い

私たち名古屋YMCAは、困難な状況にある人々に寄り添い、地域・世界・地球の課題解決に向けて活動しています。クリスマスを迎えるにあたり、すべての人が生命の大切さを感じ、他者へのいたわりと分かち合いの気持ちをもち、共に生きる社会のため、本献金は捧げられます。国内では社会的に弱い立場に置かれている人々が厳しい冬を迎えます。世界各地では多くの人々が貧困や飢餓、戦災のために苦しんでいます。私たち一人ひとりが、誠実に、平和を生み出す小さな働きを行っていくことが大切です。この時期にどうぞ皆さま、クリスマス献金へのご協力をよろしくお願いいたします。

受付期間：2025年12月1日(月)～2026年1月31日(土)  
 献金方法：各YMCA窓口 or 下記銀行口座へのお振込み  
 振込口座：三菱UFJ銀行 きよなみ支店(普) 1117998 公益財団法人名古屋YMCA

### クリスマス献金は、何に使われるの…?

**青少年育成**

- ユースボランティアリーダーの育成**  
ユースボランティアリーダーは子どもたちと直接関わります。野外活動における安全確保や技術習得、プログラム作成等のトレーニングを行います。
- 貧困児童対策**  
貧困児童問題に目を向け、「すべての子どもたちに自然体験を」という願いのもと学童キャンプを実施しています。ユースボランティアリーダーと共に、安全で笑みある夏休みを過ごします。

**国際協力**

- 国際理解**  
コロナ禍で希薄になっていた日韓ユースセミナーが復活し、対面実施が叶いました。交流によって互いの文化を理解し合う、青少年育成の場となっています。
- 留学生支援**  
物価高騰の影響を受け困窮する、YMCA日本語学院の留学生の生活支援を行います。また、生徒数は増加傾向にあるため、受け入れ体制の拡張・整備を行っています。

**地域奉仕**

- 地域交流**  
幼児から成人まで編成された聖歌隊が、讃美歌やクリスマスキャロルを合唱し、クリスマスの喜びを市民の皆様に伝えています。20年以上続く伝統行事として、会員同士の交流の場にもなっています。
- 地域関係団体と共に**  
様々な団体と協働し地域へ貢献すると同時に、名古屋YMCAの理念や取り組みへの理解を進めています。近年では、社会の変化に対応した広報活動を工夫しています。

## 総主事コラム

### 平和を創る食卓

昨年末のことです。いつもお世話になっている韓国料理屋で早めの夕食を取っていると、仕切り越しの隣の席に二人の外国人女性が座りました。声に聞き覚えがあったので覗いてみると、YMCA日本語学院の卒業生でした。卒業後も連絡を取り合い、その日は四人での食事会。ベトナムとネパール、そこにミャンマーとドイツが加わり、立派な国際会議の成立です。

在学中にしっかり学んだ彼女たちは、今は全員大学生。共通言語は当然のように日本語です。多文化共生社会を目指す日本語学校の卒業生が、国籍を超えて楽しそうに歓談している姿に嬉しさが込み上げます。オープンマインドな彼女たちは、年の離れた私にも壁をつくらず、さまざまな話を聞かせてくれました。

残念な話としては、「実は大学はあまり面白くない。授業を前の方で真剣に聞いているのは留学生ばかりで、日本の学生は後ろの席で寝ていたりスマホを見ていた

りする。日本語学校の方が楽しかった。」ということ。志を持って異国に来て目的を持って学ぶ留学生と、目的が明確でなく将来を模索している日本の学生との意識の差を感じずにいられません。

一方で嬉しい話もありました。お酒が好きなのにその日はお茶を飲んでいたドイツの学生。実は子どもを授かっており、一度ドイツに帰国して出産してからもう一度に日本で学び直すそうです。結構大変そうな話を明るく前向きに話す姿に、思わず「あっぱれ」です。日本にある韓国料理屋で、ベトナム、ネパール、ミャンマー、ドイツの留学生が初老のおじさんと何気なく語り合っている光景は、まさに「平和」そのものだと思います。彼女たちのような若者がいる限り、私たちの平和は守られると確信したステキな時間でした。

その時間があまりにも嬉しくて、先に黙って食事代を支払って帰りましたら、丁寧な日本語で書かれたお礼の手紙がお店に預けられていました。最後までステキな私たちの卒業生です。

(中村 隆)

# #YMCAPINK

でメッセージを広めよう!



毎年2月の最終水曜日、全国のYMCAで開催される『ピンクシャツデー』。  
 “いじめや差別をなくそう”をテーマに、様々な取り組みを行っています。  
 言葉や暴力ではなく、行動でいじめ反対の意思表示をしましょう!

名古屋YMCAでは、YouTubeやInstagram、Facebookを活用し、いじめ反対のメッセージを発信しています。みなさんも一緒に、SNSを通じてピンクシャツデーについてメッセージを広めてください!ピンク色のものを身につけて撮った写真を#YMCAPINKのハッシュタグと共に投稿してください!

動画見てくださ〜い!



## 自分ならどのように行動できるか?

名古屋YMCAはピンクシャツデーの取り組みとして、「自分ならどのように行動できるか」を考えるワークを行っています。現在池下本館では、いじめに遭遇した場合に自分がとる行動を考え選択するアンケートを掲示しています。クラスに通う子どもたちは、様々なシチュエーションを具体的に想像しながら回答していました。いじめをしない・なくすことも大切ですが、傍観者にならない重要性が伝わればよいと考えています。

このワークは子どもだけでなく、保護者やボランティア、

スタッフ、名古屋YMCAに訪れた方でしたらどなたでも取り組んでいただけます。ぜひご参加ください。



### 維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご容赦ください

#### 維持会員(継続)

鬼頭美恵子 深尾 俊雄 三口 大登 三口あゆみ

#### 寄付金・募金

(国際協力募金) 東海教会 和田 芳子

(一般寄付) 加藤 美乃

#### (クリスマス献金)

伊藤恵以子	三口 大登	松本 勝	大崎 大和	大崎 健	山崎 想大	亀村 奏太	亀村 彩葉
小林 稜	岩井 稜平	土屋 俣子	大須賀章子	池田 光規	池田 光穂	済田 真美	長谷川清二郎
酒井 浩輝	山本 和子	高木 皓平	鷹羽響太郎	梅村 真央	磯村 佳子	磯村 彩太	磯村 唯太
山本 恵真	山本 陽康	山本 勇理	水谷 晋祐	水谷 梨央	春日 裕忠	下村 徹嗣	橋爪 良和
和田 芳子	中井 信幸	古賀 千尋	田邊英里香	加藤 早織	鶴田 志帆	鶴田 翔己	服部 朋葉
伊藤 遥人	川越 康平	遠藤恵美子	清水美佐子	匿名			

日本基督教団御器所教会    こひつじ保育室    株式会社矢場とん    東海教会

### 早天祈祷会

日時 2月3日(火) 7:45~  
 会場 名古屋YMCA5Fチャペル  
 奨励 愛知老人コミュニティーセンター  
 宗教主事・施設長 小田部正一先生

### お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

### 名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

### 2025年度聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。(ローマの信徒への手紙12章15節)